レスリング個人66歳級

大技「水車落とし」を決める宮城辰司

(浦添工)=30日、

南風原高校体育館

# 66≒⋒級

96<sup>≒</sup>□級

南風原高体育館 (南風原) 勝1敗③友寄1勝2敗④知念3敗 友 新新 系 ▽同順位 ▽55歳級決勝リーグ 城 数 ① 系数 3 勝② 新垣 2 2 2 0 (北部慶) (北部農) 友寄 雄太 友 知 (北部農) 大部農) 矢口 池 念寄念

敗

▽60 き級決勝リーグ

(浦添工)

▽66き級決勝リーグ

勝1敗③松村1勝2敗④具志堅3

敗

▽同順位

①金城3勝②友寄2

2 0

志

▽同順位

>50\*級決勝リーグ

松友友

2

具松具

堅村堅

佐

Ш

2

志

Ŷ سا

スリング

金

坝

(八重当)

比

嘉

1ルフ 分1 59 P I

佐

久

Ш

靂

ク 35ルフ 秒2 ォ PI

知

花

SKL IN

知屋

花久

宫宫

里里

比 比

此 \* 本 村 2 0 2 奥

松

りかえった。レスリング個

り替え、大技を決めた。

「担いだ時に相手の腕が

保監督の怒号で気持ちを切

会場の空気が一瞬、

人66 \* 級の宮城辰司(浦添

の左足に鋭いタックル

き付けて後ろに投げる。そ 取れれば自分の腕で体に巻

(浦添工) 比嘉 龍汰 (八重山) 奥松 (八重山) Œ

當 城 城

て 発 壮 山 に (北部農) 良区

勝1敗③佐久川1勝2敗④奥松3 ①本村3勝②比嘉2 具 敗 ▽74音級決勝リーグ 志 堅

2 0

2勝1敗③知花1勝2敗④宮里3 ▽同順位 ①宮城3勝②屋比久

(南風原) 三島 健誠 盛 具

(八重山) 玉城 雄輝

志 堅 根 根 秒 1 ル 分 2 43 P 2 0 2 0

(浦添工) 盛根 聖太 磨 城 4 敗 那

蹈 2 (真和志) 上重 太陽 (北部農) 嘉陽 研人

磨 2 1 玉 城

2勝1敗③三島1勝2敗④玉城3▽同順位 ①具志堅3勝②盛根

### 7

から倒れ込んでマットに沈

前の柔軟性と投げ技のセン

実力を誇る柔道選手。

持ち

中学までは県大会2位の

んで制すると、一気に背中

きだった。

/知花の腕をがっちりつか

立ち上がった。背中でもが で入ると、そのまま担いで

が習で想定していた通りの動がる」。偶然に見えるが、練でうでなければ前に投げ

クルを決めようとするあま んでいたが、より良いタッ めったに見られない5点技 めた。技の名前は「水車落 で試合を決めた。 し」。高校生の試合では 序盤から試合を優位に運 にくいが、確実に決められ スで優勝をつかんだ。 スリングは投げ技が決まり

10秒を切り「何をたらたら

盤を迎えた時は狙う」と宮 ントをリードされたまま終 る体勢になった時と、ポイ 位入賞を目指す。 強豪がひしめく全国で 自分の武器を生かして

1

ング66キロ級決勝 石垣市総合体育館

3

66年 級

96年 級

## トレスリング

石垣市総合体育館

フォー

>同準決勝

▽50よ級準々決勝

分 全 主 大 果

(浦添工) 鹿屋中央田 ▽同準決勝 >55 一級準々決勝 >60計級準々決勝 2-0 2-0 2-0 エ・熊本) (北部農) 城

向かう気持ち失わず

宮城

·福岡) 2-0 ▽74章級準々決勝 河縣工

2-0

(日本文理) 摩

(鹿屋中央) ▽同決勝 数 20 1ルフタる ・鹿児島 (鹿屋中央 田 糸 数 日本文理

(浦縣工) >同準決勝 20

城 2-1 (玉名工) 堂 堂

▽同決勝

2-0 · 鹿児島) 昊 ▽96七級準々決勝

城

·長崎) 2-0 ▽66+級準々決勝 2-0 州· 福光 (浦添工) 匠 VT. (浦添工)

(宮崎工)元

(鹿屋中央) ▽同準決勝 志 EEX. タルフターオ

(鹿屋中央) ▽84章級準々決勝 2-0 2-0 不戦勝 (浦添工) 正・長崎) 辰田(島原 舆 志

图图

2分間のピリオドを0-0 〉同準決勝

てから「気持ちが明るくな タックルをかわして勝利し で終えたときに行う抽選で 決勝で抽選に負けたものの も、相手に攻撃権を奪われ しばかりだった。だが、準

明るい表情と強いタックル なった宮城は「美ら島総体 では3位以内を目指す」。 今大会、ひと回り大きく

と目を細めた。

不調が続き、前日の学校

りに攻めることができた

トー秒まで冷静で、練習通 に、屋比久保監督は「ラス

### れたが足を取るそぶりを見 びタックル。左三をつかま せて相手が腰を引いた瞬

縄太郎(鹿児島・樟南)を

それでも向かう気持ちは失

州の栄冠も勝ち取った宮城

初めて松元を負かし、九

わなかった。残り5秒で再

浦添工)は目の前の松元

66 数決勝。宮城辰司

に入ったが、かわされて逆

を取った。

に1ポイントを奪われる。

ぶつかっていこう」。 キッとにらみつけた。「負 けてもともとだ。とにかく

試合開始早々、タックルでタックルを決めてバック

間、1本背負いを決めた。 に先行されるが、残り10秒 続く第2ピリオドも相手

献できず「落ち込んでい 対抗戦決勝でもチームに貢 た」という宮城。大会中、

全国の強豪に挑む。 を取り戻し、自信を持って 深沢友紀